



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

JUNE 1993, No. 12
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1992~1993)

- IP "Let's care, let's share!" 労りの手, 分かち合いの心
 AP "Look beyond yourself!" 乗り越えよう, われわれ自身を
 RD "Extend Y'sdom throughout community" 届けよう! 社会にワイズの大きな輪
 -aim high at 6000- -日本区6000への実りを求めて-
- DG 『日々, 新しく生きる!』
 CP 『先ず実践! 感謝と報恩の行動を!』
 =月間強調テーマ 『Evaluation & Planning』=

= 6月の聖句 =

わたしは、強く雄々しくあれと命じたではないか。
 うろたえてはならない。おののいてはならない。あ
 なたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。
 ヨシュア記 1章 9節

- ☆「これ、神様が言っているんでしょ? 誰に言っているの?」
 ★「ヨシュアさんよ。ヨシュアさんって知っているかな? モーセさんがイスラエルの人々を連れてエジプトから脱出したお話は知っているんでしょ?」
 ☆「うん! 海の水が開いてそこを渡って行ったり、何も食べるものがなくなった時はマナが降ってきたり。十戒を神様から頂いたのもその時でしょ?」
 ★「そう、モーセさんはそうやって、40年もの間イスラエルの人々を連れて砂漠をさまよったのね。でもいよいよ目的地カナンに着く前、ヨルダン河の手前で死んでしまったの。そしてモーセさんの後継者として選ばれたのが、このヨシュアさんなの」
 ☆「今度はヨシュアさんが、みんなを連れて行かなければならなくなつたんだね?」
 ★「そう。でもヨシュアさんはとっても不安だったの。自分がモーセみたいになれるかな?」
 ☆「ああ! その時神様があの言葉を言って下さったんだ!」
 ★「そう、どんな時にも一緒にいてあげるから、っってお約束して下さい、励まして下さっているのね」
 ☆「うれしいね、神様にこんなふうに言われたら」
 ★「そうね。でも同じように、私たちにも神様からの語りかけがあることも忘れないでね!」
 (杉浦眞喜子君撰・解説)

--- 6月第1例会 ---

日時: 1993年6月16日(水) 6:30~8:30 P.M.
 会場: 大阪YMCA国際・社会奉仕センター

司会: 横山 豊君

1. 開会点鐘 上月英子会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 森 晴美様
4. ゲスト紹介 上月英子会長
5. 日々の糧及び黙祷 一同
6. 晩餐 一同
7. 入会式 (長瀬由香子君) 上月英子会長
8. 新旧会長交代式
9. 新中西部長メッセージ 中川次郎中西部長
10. 日本区大会報告 出席者
11. お誕生お祝い 一同
12. ニコニコ献金 ドライバー
13. 委員会・役員会報告・YMCAニュース
14. 閉会点鐘 上月英子会長

= 6月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people ...
 鈴木様 4日, 横山君 13日, 平田様 20日,
 平田君 25日, 黒田様 26日, 河野君 28日,
 津田葉様 28日

= 6月第2例会 =

日時: 1993年6月23日(水) 6:30~8:30 P.M.
 場所: 大阪YMCA国際・社会奉仕センター

- ◎6月第1例会当番: (第4班)
 田中君, 佐藤君, 横山君, 藤本君, 森様
 受付・準備・後片付などを宜しくお願いします。



(例会2日目朝の滞々しい朝を撮って)



(六甲の朝食はまた撮影です)

5月特別例会報告

福永嘉彦

新緑の好季節そのものが満喫できる六甲山に登り、折りからかかってきた霧に何かロマンを感じながら胸を踊らせて、久しぶりのYMCA六甲研修センターに入ったのは、14日も薄暗くなった頃でした。

私達の例会の部屋は、正に六甲に於けるYMCAの開拓時代を彷彿とさせる古色蒼然たるマントルピースが構えて、私達に何かを語りかけているように思えました。そのような雰囲気にも包まれて持つ例会では、先人諸先輩に続く私達として、また希望に溢れた楽しくワイズらしい親しみのある交わりが深められました。

まず秋月君の司会のもと、上月会長の振られる小さい鐘が可愛い響きで開会を告げ、アカベラのワイズソングが如何にも六甲での例会という一種の野趣味を添えていました。河野君の聖句朗読に続き、三浦所長と長瀬さん(入会式は6月例会にて行うことにする)のゲスト紹介があり、日々の糧を歌い、鈴木君の乾杯のあと名物六甲鍋をつつきながらワイワイ賑やかな談笑が続きました。

卓話では、三浦所長が、海辺で鍛えられた部屋も割れそうな、凄まじい声で徳島弁をまじえながら、モヤモヤのひげの口から次々と興味深い話題を聞かせて下さいました。

18年間という長い阿南での海と風との生活で、自然から教えられた天気予報をはじめ、台風の時など舞い上がるヨットを見ながら祈るよりはかなかったというような体験が語られ、時の経つのも忘れて聞き入りました。私達は、三浦所長の若者に対する貴重な献身的ご努力に感銘すると共に新たな勇気を与えられました。

最後に、カタカナで覚えられたという韓国語のアリランをオペラ歌手も顔負けの美声で聞かせて頂いたのは、まことに印象的でした。

引続いて催された秋月君のゲームでは、次々に出される豊富なアイデアに一同まさに度肝を抜かされたものでした。それにしてもセンチナールの皆さんは熱狂的であり、且、大した教養の持ち主だと驚きました。

その後は、例によって六甲の夜を惜しみながら語り合ったものでした。翌朝は早く起き、朝食をすまして、それぞれ有意義な例会を満喫しながら、暗れ上がった六甲山を後にしました。

(お詫び：三浦所長の豪快な卓話と秋月君の驚異的なゲームに圧倒されて、肝腎の写真撮影と報告文の依頼を忘れ、まことに申し訳ありません。)

= 5月第2例会報告(5/26) =

- 6月度例会プログラム：別掲の通り決定。
- 7月度例会プログラム：(第5班・・・組替え)
新会長・新役員メッセージ、決算・予算提案、92/93年度活動表彰
- 安全の日キャンペーン協力金寄付：20,000円決定
- 大阪YMCAわいわいフェスティバル協賛金：20,000円(Yサa/cより)決定
- 高石ともやコンサート・チケット協賛：(大阪YMCAに)18,000円(3,000X6)決定
- 大阪YMCAホームステイ・協力家庭募集：(別掲参照)
- 第15回アジア大会ユースフォーラム参加者募集：検討(別掲参照)
- 日本区アンケート：個々の意見はあるが、決定事項に従うこととする。
- 日本区大会参加：確認
- 京都さくらY's設立総会(7/11)：祝電打電。
- 大阪Y's 65周年感謝記念会：検討。
- 各事業委員割当検討。
- 各事業委員長(北沢君)は6月第2例会に出席の事。
- YMCAに年間計画提出を依頼。
- その他

= 5月出席状況 =

第1例会出席会員：15名 ネット：5名
 ゲスト：2名
 第2例会出席会員：8名
 出席率：45% (前月52%) 会員数：33名
 ◎ニコニコ献金：29,700円

32

◆ ジュネーブ、ロンドン最新事情 ◆
— 歴史の現実、旧教と新教の対立 —
谷川 寛

4月下旬、再度世界Y M C A同盟の常務委員会出席のため、ジュネーブを訪れました。

ジュネーブが国際的使命を担う都市になったのは、宗教改革によると云われています。ジャン・カルヴァン JEAN CALVIN の思想は、16世紀以降、フランス、英国、さらに東欧にまで広がり、ジュネーブは新しい信仰を求めて祖国を捨てた人々の城砦の役割を果たしました。従って、ジュネーブにはカルヴァンにまつわる史跡が、今日もいくつか残っています。カルヴァンの生誕 400 年を記念して建てられた 宗教改革記念碑もその一つです。そのような人物でありながら、現地でカルヴァンの墓地のことは、殆んど知られていません。

私たちの集会の開かれた Y M C A ホテルの近くの墓地にカルヴァンの墓のあることを地元の聖職者から昨年聞きました。今回、集会の合間をぬって、その墓地を訪ねましたが、二回目ですと見つかりました。

探すのに苦労した理由は、他の立派な墓石に比べ、カルヴァンの墓石があまりにもみすぼらしく質素であったからです。なんと、わずか 20 センチ四方の墓石にたゞ頭文字の "J C" とだけ刻まれており、あとは没した年号も何も、一切刻まれていません。

これが、旧教に反旗を掲げ、ルターと並び宗教改革を実行したカルヴァン派の祖の墓であるとは信じられず、眼を疑いました。この質素な墓の理由は、本人の意志によるものか、それとも、当時、旧教の人々から反逆者とみなされた同派の人々が、旧教からの破壊をおそれて、カモフラージュしたのか、私にはわかりません。ワイス国際本部の I・ワリーンも、カルヴァンの墓が、そんなところにあるとは知らなかった、と云って驚いていました。

カルヴァンは、後の世では、宗教改革の実行者であり、ジュネーブの市政や、教会の制度、生活の改革等をすゝめたと云われています。遠く、英国や、新世界アメリカにも、大きな影響を与えましたが、当地では変り者であり、当時未だ旧教の支配力の強かったジュネーブでも彼の存命中は異端者とみなされていたようです。

ジュネーブの会議のあと、帰路、商用でロンドンに立寄りました。ジュネーブからロンドン行の飛行機の中で、4月24日のロンドンの金融街シティの爆発テロ事件のことを知りました。翌日の月曜日、シティの私どもの本店に行く途中、爆発現場の横を通りました。そこで、爆発のすさまじさを思い知らされました。爆発物を仕掛けたトラック（英国ではロリーと云う）は跡形もなく、ただトラックのエンジンの残骸だけが 50 ヤードも先に吹飛んでおり、爆発の跡には 10 米四方の大きな穴があいていました。下水道の復旧に時間がかかるそうです。爆発に面したナットウエスト銀行本店ビル、香港上海銀行ビルのガラス窓という窓は、す

べて爆風で、ガラスが吹っ飛び、ビルの窓から白いカーテンが、細く切った短冊のように、風にヒラヒラゆれていました。まったく異様な光景でした。今回のテロ事件も、昨年と同じく IRA の仕業であることは間違いありません。北アイルランドの旧教と新教の対立のきびしさを思い知らされました。

エキュメニカル運動が叫ばれて久しいですが、旧教と新教の対立にまつわる紛争が、今も続いているのが歴史の現実のようです。

— フィリピンの日系人 —

先月号の山村メネットの書かれたフィリピン・バギオ市訪問の記事、大変興味深く読ませていただきました。殊にバギオでひっそり暮らす日系人の話は考えさせられました。山村メネットの良きお働きを心から感謝いたします。

たまたま、5月10日付の日経新聞に、そのフィリピンの日系人の記事がありましたので、こゝに掲載をお願いしました。山村メネットのお話を裏付けるかたちとなりました。

(谷川 寛)

Asian Winds

中国残留日本人孤児には日本では国民の大きな関心と同情が寄せられる。しかし先の大戦の善悪論となり、敗戦国としてフィリピンで筆舌に尽くしがたい辛酸をなめた日系人の存在は余り知られていない。正確な統計はないが、フィリピン全体では五十人以上の日系人がいると見られており、残念なことでは大半はフィリピン社会の底辺で、貧困にあえいでいる。明治から大正にか

けてフィリピンに渡ってきた彼らの父祖は建設労働者や小売業に従事していた人がほとんど。懸命に働いて努力した左相果、経済的に成功した人が多く、フィリピン婦人と結婚して現地に根付

ロス・B・寺岡氏(左)によると、日系人は進駐してきた日本軍に協力したため、日本の敗戦後、「フィリピンの敵正見なされた。住民に見つかれば、発行などの迫害を受けたという。

日系人は山岳地帯やジャングルに逃げ込み、日系人であることをひたすら隠して生き延びてきた。彼らが故国の繁栄を知り、日系人であることを隠さなくなったのはこの十数年ほどのことである。

(マニラII 平野記者)

比にも日系人 5000 人

▽ 大阪YMCA国際専門学校日本語学科 ▽

ホームステイ・プログラム 協力家庭大募集

—留学生に日本の文化及び家庭生活に触れる機会を—

○日程：1993年6月26日(土)～27日(日) (1泊2日)

○集合時間：6月26日(土) 3:00 P.M.

○集合場所：大阪YMCA国際専門学校(7階受付)
8階 809 教室 (土佐堀)

○解散：6月27日(日) 自由解散

○プログラム：各ご家庭にお任せする。

○申込・問合せ：上記日本語学科 ☎ 06-441-0892

▽ 第15回ワイズメンアジア大会 ▽

ユースフォーラム参加者募集

期日：1993年10月15日(金)～17日(日)

場所：神戸ポートピア国際会議場ほか関連施設

主題：「Think Asia, Think Y'sdom」

目的：アジアに生きる若者として互いの友好を築き平和な世界を創るためになすべきことを共に考える。それを大会に集うワイズメンに提言する。

募集定員：日本の青年 20名

日本に住む留学生など外国の青年 20名

応募資格：何らかの形でYMCAまたはワイズメンに連なっている青年であること。(16～30歳位)

参加費：日本の青年一人1万円、外国の青年無料

推薦：関係YMCAの責任者or Y'sクラブ会長の推薦必要。(詳細は、事務局☎06-772-4359へお問合せ下さい)

＝ 5 月 B F 報告 ＝

[切手提供者]

秋月君 上月君 杉浦君 隅田君

津田葉君 福永君 森君 山田君

[5月分] [累計]

切手Pts 1,202 Pts 25,580 Pts

現金Pts 0 Pts 19,000 Pts

◎7月からBFは足立君の担当です。

◎大型と小型は完全に切り離すこと。

◎切手の回りは約3ミリ残して切ることを守ってください。(津田葉)

☺ ニコニコ・メッセージより ☺

○娘・三歳女兒・生後2ヶ月の男児と家内の5人の生活、何とか毎日が過ぎていきます。感謝!!!

一夜明け雨もあがって新緑に包まれた六甲センター清々しい気持で一杯です。感謝!!!・秋月利英

○久しぶりに、楽しいゲーム、懇談でリフレッシュ! いやー、ワイズって最高ですね。(なこ) 掛江康一

○三浦氏の熱弁と秋月さんの楽しいアイデアのゲームにワイズを満喫しました。

有難うございました。・・・上月英子

○楽しい研修会でした。スケジュール外の談話がいろいろと参考になりました。次の機会を楽しみにしております。・・・河野靖一

○気持のよい朝の空気を満喫出来て感謝。

連休中、2つのY'sの設立総会、チャーターナイトに参加しました。いろいろ勉強になりました。8日には40代最後の誕生日を迎えました。この一年も元気ががんばります。・・・杉浦真喜子

○新緑の六甲に来て、「海の男」三浦所長の「なんでもする船長の話」を聞いて実に愉快だった。

・・・鈴木謙介・美藤

○新緑の素晴らしい六甲での集いに感謝して・隅田 保

○新緑まぶしい六甲で多くの皆様と楽しい時をすごせました。ありがとうございました。・・・隅田恵子

○雨後の新緑の六甲は素晴らしくさわやかでした。

にぎやかに楽しい一時をすごしました。神様とクラブのメンバーに感謝いたします。ありがとうございました。・・・田中權二・豊子

○楽しい例会でした。皆さんのゲームに熱心なおどろきました。・・・谷川 寛

○新緑の六甲で気分リフレッシュ。特別例会とても楽しかった。鶯の音がさわやかです。・・・津田葉清政

○うぐいすの声で目覚め気分が洗われるような感じでした。・・・長瀬由香子

○三浦所長と秋月君に拍手・感謝。短文のクイズを当てられショック。写真撮影を忘れ SORRY・福永嘉彦

○新緑の六甲のすばらしい環境の中で楽しいお話やゲームのひとつを感謝します。・・・福永滋子

○三浦所長のお話、秋月さん指導の楽しいゲーム、夜の語り合い有意義な一泊でした。・・・真嶋克成

○六甲のすがすがしい朝がよかったです。・三浦直之

○素晴らしい新緑の六甲での一泊、三浦所長のお話、ゲーム楽しくすごさせて頂きました。・・・森 晴美

○ゴールデンウィークに「姫路グローバル」「京都みやび」とチャーターナイトのはしごをしました。両隣の部それぞれの活気に刺激をうけ、気持をあらためました。感謝。

「六甲の新緑」もフレッシュでした。・・・山田孝彦

○楽しい会食、ゲーム、又来年も。・・・山村幸明

◇◇ クラブ・ソング ◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;

We raise our hand, Our service pledge renewing,

Ne'er to deny our motto's claim,

Y's Men in fact as well as name,

Always our objects to pursue,

We consecrate ourselves anew.

うたえば こころひとつに

ともがき ひろがりゆきて

とおきも ちかきもみな

ささげて 立つやワイズメン

さかえと ほまれゆたか

まことは 胸にあふれん

CS 委員から 御報告と御礼

暮れから年度末にかけて、度々お願いをさせて頂いた幾つかのCS関係の事業、今年度分の集計、送金が全て終わりましたので御報告します。

CS関係の事業には、1. お年玉付き年賀ハガキ 当選切手、2. TOF (タイム・オブ・ファースト) 献金、3. FF (ファミリー・ファースト) 献金、があります。

1. はCSファンドとして、地域のCS事業や国際支援にと広く有効に使われます。今年度の目標が 1,800 ポイント (円) /1 人でしたので、皆様からいただいた 25,790 ポイント (切手 19,350 ポイント、現金 6,440 ポイント (円)) にクラブ会計よりの補助を加え、60,000 ポイントとして日本区へ送りました。

2. の TOF は世界の飢餓に苦しむ人たちを覚えるために全国一斉に 2 月例会の食事を抜いてそれを献金するものですので、 $1,500 \times 33$ (全会員数) = 49,500 円を 3. の FF、29,806 円と共に日本区に送金しました。

3. の FF は、TOF の主旨を家族にも広げようとするものです。我がクラブではリスト・コイン容器を予め配らせていただいていたが、2 月に皆さんが持参して下さったリスト・コイン (お札や、百円、五百円硬貨も混じていました) は上述のように 29,806 円でした。これら TOF、FF の献金は全て国際に送られ、今年度は「家族ぐるみで地域開発」というテーマの下、世界中の 7 つのプロジェクトに使われるのだそうです。

以上のように、皆さまのご協力で、今年度のCS関係の献金その他、目標を達成して送金することが出来ました。ありがとうございました。そして来年もよろしく!

(なお、ご協力下さった方々及び献金額は別表の通りです)

(CS委員: 杉浦眞喜子)

9.3 CS・FF 協力者

氏名	CS ハガキ (Pt 数)	FF リスト・コイン (円)
鈴木 謙介	3,100	421
上月 英子	2,550	2,745
山田 孝彦	2,550	495
杉浦眞喜子	2,250	583
横山 豊	1,940	
秋月 利英	1,850	1,689
谷川 寛	1,800	6,386
福永 嘉彦	1,800	1,160
足立 利枝	1,300	687
黒田 巖之	1,050	
田中 穰二	1,000	4,466
平田 雅利	1,000	1,243
佐藤 勝雄	950	
山村 幸明	800	1,252
森 晴美	750	1,070
津田葉清政	700	1,287
隅田 保	400	1,734
伊藤 勝康		1,825
藤本 史郎		1,909
岸川 真二		797
河野 靖一		57
計	25,790	29,806